

## 特集1 生徒・保護者 学校評価アンケートの報告

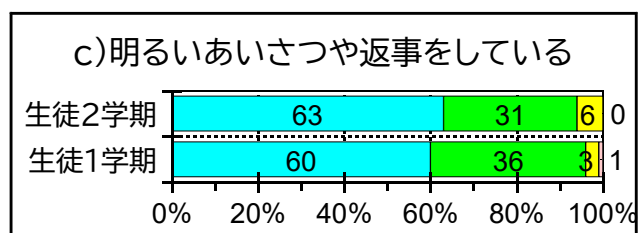
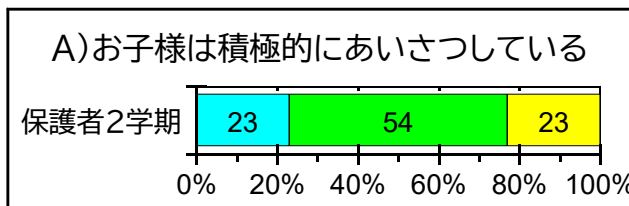
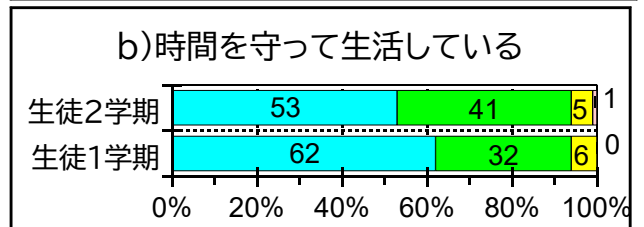
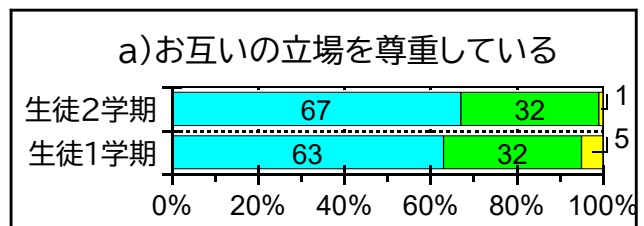
回答期間 令和6年11/22（金）～12/2（月）

■ そう思う   
 ■ だいたいそう思う   
 ■ あまりそう思わない   
 ■ そう思わない

### 1 健全な学校環境をつくるために

お互いの立場を尊重する、時間を守る、この2つは集団生活の基本とも言えるものだからこそ大切にしてきました。2学期は、こまゆみ祭などたくさんの行事があり忙しいことや1学期の緊張感が解けてくることもあり、時間を守る（グラフb）については若干の変動がありました。全体的にきまりを守った生活ができているのではないかと思います。お互いの立場の尊重（グラフa）については、道徳や人権教育だけでなくすべての教育活動において今後も大切にしていきたいと思ひます。

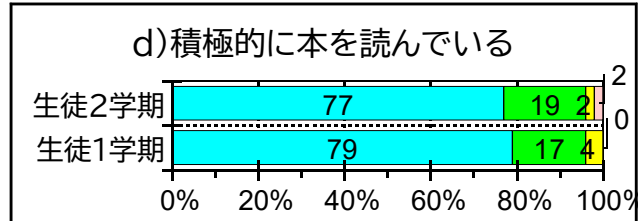
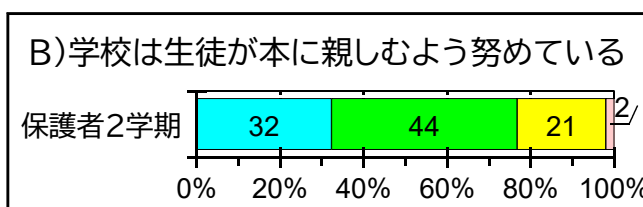
あいさつについての設問が生徒アンケート（グ



ラフc)にも保護者アンケート（グラフA)にも

ありました。生徒は「している」と回答した割合が高いのですが、保護者のとらえは少し違うようです。生徒は「学校ではしている」、保護者の皆様は「家ではしていない」ということなのかもしれません。思春期を迎え、親に対しては素直になりにくい年頃かもしれませんが、学校だけでなく地域の方には爽やかなあいさつができる中学生になってほしいと願ひます。

また、読書についての設問でも同様の結果となっています。8時15分からは水曜日以外は朝読書になっているため、生徒は「読んでいる」（グラフd）、保護者から見れば「家で読書している姿はあまり見ない」（グラフB）というそれぞれの実感の違いによる結果なのかも知れません。



### 2 生徒が主体的に学びを深めていくために

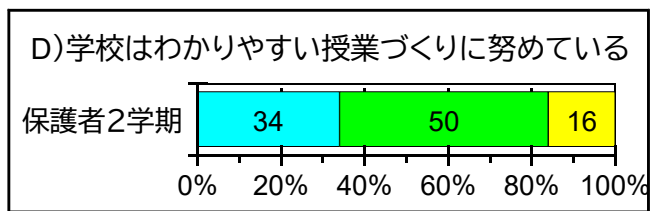
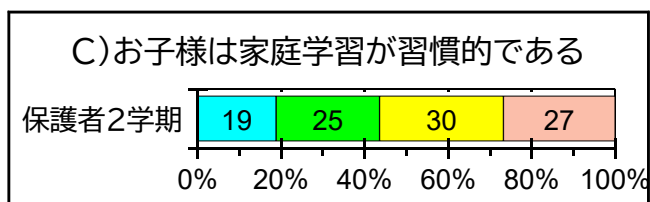
すべての授業において落ち着いて取り組む姿が見られます。学習内容になかなかのめり込めない生徒もおりますが、自ら進んで追究している生徒の割合は8～9割（グラフe）、向上心を持って取り組んでいる生徒も8～9割以上（グラフf）となっており、前向きに取り組もうという意欲の高さが

うかがえます。

反面で、自主的・自発的な学習にはまだまだ課題がありそうです。漢字1ページや英語1ページといった作業的な宿題をなくし、今年度は、自分で考えて、自分のやり方で学びを連続的につなげていく『セルフスタディ』を勧めて参りました。

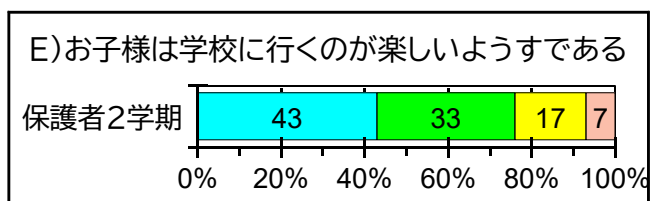
「セルフスタディに取り組んでいる」と答えた生徒の割合は7割程度（グラフg）と成果が感じられましたが、「お子様の家庭学習が習慣的」と感じている保護者の方は4割強（グラフC）にとどまっています。

与えられる学習からの脱却はとても重要なことですが、まだ成長途中の中学生です。必要に応じて課題を与えながら、学ぶことにやりがいを見いだせる生徒の育成を目指していきたいと思います。

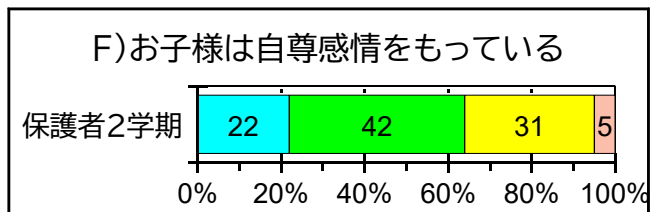


インかを図り、誰にとっても理解しやすく、生徒が主体的に学びを深める授業を目指していきたいと思います。

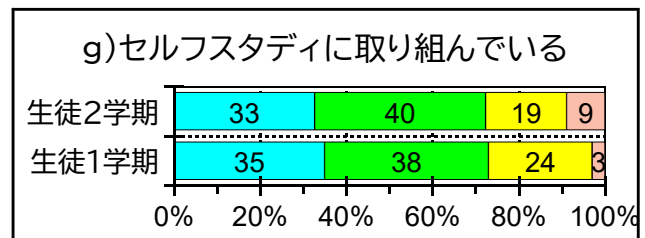
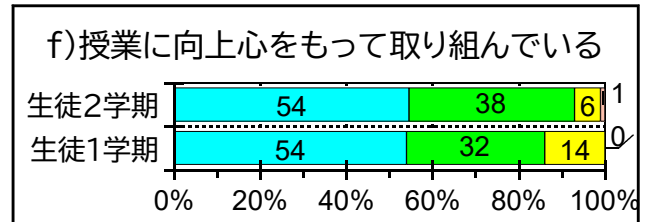
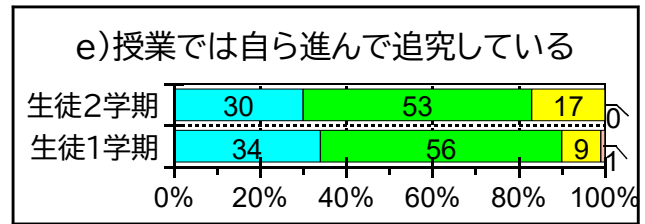
### 3 楽しさ・自尊感情を高めるために



学校へ来るのが「楽しい」と感じている生徒がおよそ8割弱（グラフh）、保護者の方も8割弱（グラフE）にとどまっています。これは過去3年間の中でもっとも低い数値となってしまいました。「楽しい」と思わない生徒、保護者が2割以上もいらっしやることに対して深く反省をいたすところがあります。

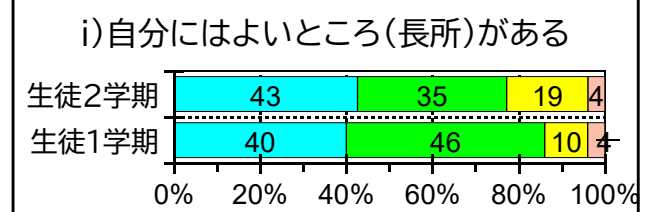
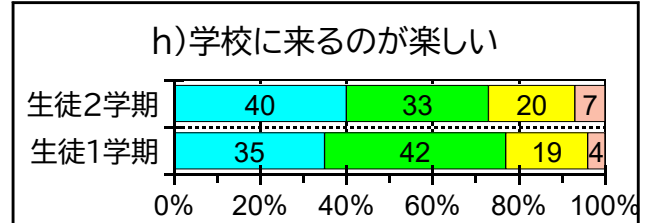


また、自尊感情にかかわって、「自分にはよいところがある」と思っていない生徒が2割強（グラフi）、「お子様は自尊感情をもっている」と感じていない保護者の方が4割弱おられます。（グラフF）



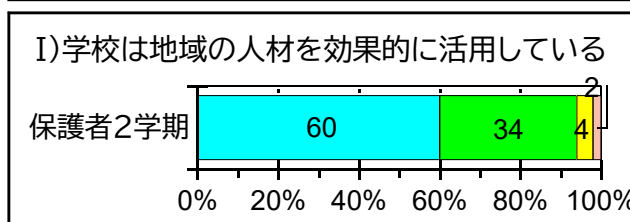
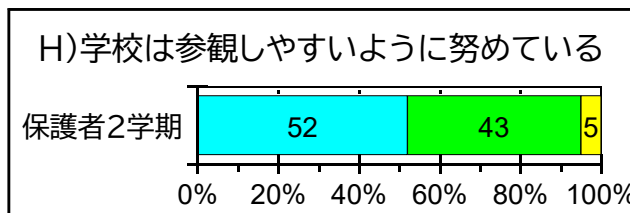
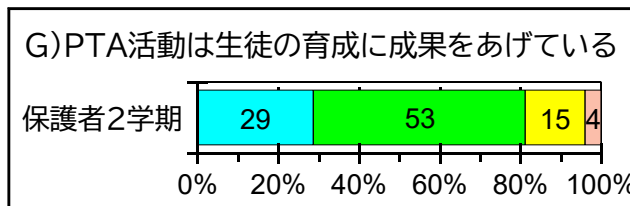
わかりやすい授業づくりについては、2割弱の保護者の方が「あまりそう思わない」と回答されています。（グラフD）家庭でのお子様との会話からそのように感じておられるのだと思います。今後も引き続き授業のユニバーサルデザイン

を図り、誰にとっても理解しやすく、生徒が主体的に学びを深める授業を目指していきたいと思います。



私たちは職員はこれらの結果を重く受け止め、12月27日の夕方、そして、冬休み中の1月7日に緊急で職員研修を実施しました。「楽しいと感じない要因はなにか」「楽しさとはなにか」「職員一人一人が改善することやできることはなにか」などを話し合いました。いろいろな要因が考えられますし、楽しさにもいろいろな感情があらうかと思いますが、一番は、生徒が、誰かの目を気にすることもなく、誰に人権を侵害されることもなく、自分らしくいられる環境こそ、「心地よい学校」になるのではないかと考え、3学期の職員重点目標を『生徒が自分らしさを出せる学校のために』と決めました。3年生にとっては「青木中生でよかった」という気持ちで、1、2年生にとっては来年度の中学校生活に希望をもって3学期を終えられることを願い、教育活動に当たって参りたいと思います。

#### 4 家庭・地域・学校の連携を深めるために



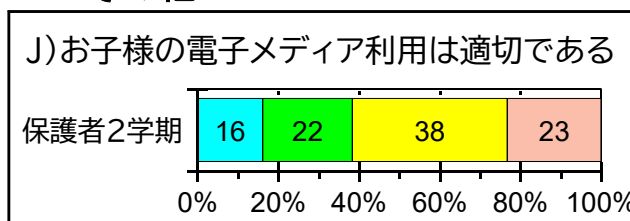
今年度も計画されていたPTA事業はすべて実施することができました。参観日は本日をふくめて全3回、多くの保護者の方が来校してくださいました。また、アイリスセミナーや防災講座、伝統芸能等では、地域の方々にお力添えをいただき、たいへん有意義で貴重な時間を提供していただきました。心より御礼申し上げます。

多感な時期を迎えている中学生を、より健全に育てていくためには、同じ大人の立場である家庭、地域、学校の密接な連携、協力がなければできないことだと思います。

より連携を深め、生徒の育成に成果をあげるために「もっとこうした方がよい」「こうすればより効果的ではないか」という建設的なお考えがあれば、遠慮なくご発言いただきたいと思います。

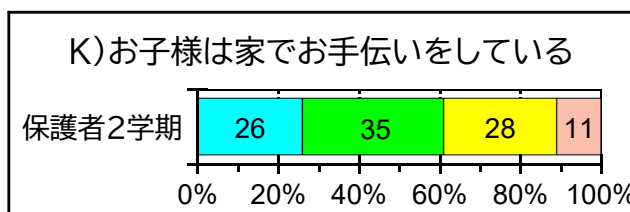
これからもよりよい方向を目指して家庭、地域、学校が手を取り合い、教育活動に当たっていきたいと思っております。

#### 5 その他



この設問については、毎年「適切ではない」と感じておられる保護者の方が50%を超えておりますが、今年度は過去3年と比べもっとも多い割合となっています。

「スマホなどの電子メディアは持たせない」という指導は遠い過去の話となり、学校でも一人1台タブレットの時代となりました。たいへん便利であるとともに怠惰や危険をもたらす可能性のあるツールです。一方的にルールを押しつけてもおそらくうまくいかないものと思います。大人として伝えるべき事は伝えるのはもちろんですが、子どもと対話の中で、よりよい方向をともに見いだしていくことが大切なのではないでしょうか。学校でも生徒たちと対話を重ねていきたいと思っております。



私も思春期の子どもをもつ親として難しさを感じています。お手伝いには、「家事の分担」もふくまれるかと思えます。頼まれてやる、のではなく、家族の一員として「この家事は私の仕事」という責任をもたせるにはどうしたらよいか試行錯誤

誤しています。「やってもらって当たり前」ではなく、互いに感謝しながら生活するという事は、家庭でも学校でも同じ事だと思います。そのような子どもを育成するためにどのような工夫をされているのか、ぜひお聞きしたいところです。

## 6 いただいたご意見について

### ○中間テストをやってほしい。

⇒生徒からも同様の意見が出ております。今年度、「テストのための学習」からの脱却を目指すとともに、スモールステップでの単元テストで学びを連続的、継続的なものにしてほしいと願い、中間テストを廃しました。しかし、1年間を通じて「期末テストの範囲が広すぎる」「負担が大きい」等の意見をいただきました。職員間でも賛否はありますが、スチューデントファーストの観点から、「1学期は2, 3年生、2学期は全学年で中間テストを実施する。」「2学期のみ中間テストを全学年実施する。」のいずれかの方向で考えております。1学期は、NRTテスト（全学年）と全国学力学習状況調査（3年生のみ）が実施されたり、中体連、吹奏楽コンクール等の各種大会、各学年行事が実施されたりすることもあり慎重に検討しております。

### ○学校のトイレをリフォームしてほしい。

⇒もう少し具体的にご提案いただけるとありがたいです。今のところ、生徒や職員からは、そのような要望は出ておりません。

### ○学校からのアンケート回答のお願いについて、回答済みの認識でいたが、未回答とのリマインドをいただきました。こちらから未回答か既回答か把握できる方法はないのでしょうか。

⇒きょうだいがいらっしゃる家庭については複数回の回答が必要となるため、「回答は1回のみ」の指定を外しております。また、回答内容のコピーを回答者に折り返し送信することもできますが、メールアドレスを収集することになり匿名性がなくなってしまいます。他の方法も調べてみたいと思いますが、回答の送信後に表示される「回答を記録しました。」の画面をスクリーンショットで保存するなどしていただけるとありがたいです。未回答の場合は、今まで通りこちらからリマインドメールを送ります。

### ○年間計画の文字が小さすぎます。日付と曜日が見にくいです。

⇒ご迷惑をおかけしました。A3判に1年間の予定を詰め込むとどうしても、日付、曜日をふくめ全体の文字が小さくなってしまいます。どこまで文字を大きくできるか工夫したいと思います。また、オクレンジャーでも送付していますので、画面上で拡大していただくと少し見やすくなるかも知れません。

### ○Wi-Fiの電磁波の影響で、不登校や体調不良が生じるそうです。学校ではWi-Fiを切り、有線LANの使用を検討してほしい。

⇒5Gの影響については、私も本を読みました。ただ、もはや電磁波から逃れられない社会です。実際のところ、成長期の子どもにとってどの程度の健康的、心理的影響があるのかわかりませんが、全国の学校で一人1台タブレットが導入され、ICTを活用した教育活動が展開されております。有線LANで、となると根底から変えなければならなくなり、悩むところです。

### ○グラウンド整備。

⇒PTA作業では多くの保護者の方にグラウンドの草を刈っていただきました。また今年度、体育祭の開催に合わせ、たくさんの生徒、職員でグラウンド整備を行いました。体育の授業でグラウンドを使用する期間は短く、グラウンドで活動する部活動もない今、年間を通して整備することはとても難しいと感じました。グラウンドの活用法については、生徒とともに考えていきたいと思っております。

### ○PCプログラミング、パワーポイント、プロモーション技術を学ばせてほしい。

⇒技術の授業でプログラミングの基礎は学びます。また、今年度の総合的な学習の時間では、AT（青木探究）タイム、JT（自分探究）タイムを通して、パワーポイント（Googleスライド）を用いてまとめたり、青木村をどのようにPRするか、という点においてプロモーションしたりした班がありました。今後も総合的な学習の時間を充実させ、生徒のニーズに合わせ講師を呼んだり、実際に作成し技能を磨いたりする機会が増えればと考えております。

○気候変動が激しい近年です。服装の選択が限られる場面（主に体育や清掃）があるようです。もう少し柔軟に、個人が選択できるよう配慮していただけないでしょうかと思います。

⇒今年度、制服検討委員会を立ち上げ、生徒が主体的に制服について考える機会がありました。また、服装については生活委員会（現生活向上委員会）中心にきまりを作り直すなど、生徒中心にきまりをバージョンアップしています。教師側からトップダウンで守らせるのではなく、生徒自ら、自分たちの生活の中の課題をみつけ改善する営みを今後も大切にしていきたいと思っています。

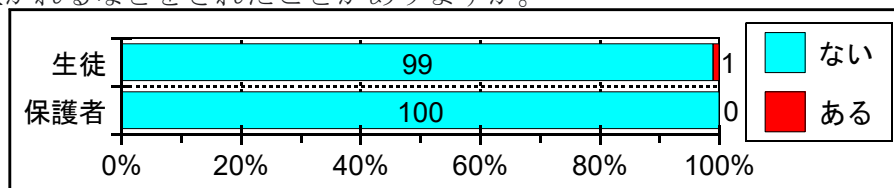
その他、「文化祭ののびのびとした雰囲気感動しました。」「チャレンジの機会をつくってくださりたいへん感謝しています。」「いつも寄り添ってくださりありがとうございます。」「学校生活を通じて努力を続ける娘の姿に成長を感じています。」「たいへんお世話になっています。ありがとうございます。」等々、心温まる、ありがたいお言葉を多数お寄せいただきました。

すべてのご意見、ご感想を今後のエネルギーとして参りたいと思います。  
アンケートへの回答、誠にありがとうございました。

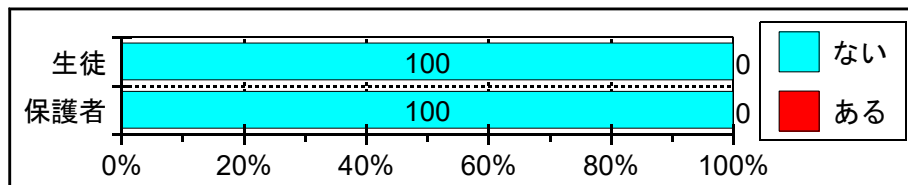
## 特集 2 体罰に関わるアンケートの報告

回答期間 令和6年12/16（月）～令和7年1/10（金）

質問 1 今年度の4月から現在までに、学校の先生や部活動の外部コーチなどから、手でなぐる、棒などでなぐる、蹴る、突きとばすなどの暴力や、長い時間正座させられるようなことや暴言を吐かれるなどをされたことがありますか。



質問 2 今年度の4月から現在まで、学校において、自分以外の人から、先生や部活動の外部コーチなどから、手でなぐる、棒でなぐる、蹴る、突きとばすなどのことをされたり、長い時間の正座などをさせられたり、暴言を吐かれるのを見たり聞いたりしたことがありますか。



### まとめ

本校では、体罰（言動などの心理的体罰を含む）を「しない」「許さない」「見逃さない」を合い言葉に、毎回、職員会の折には非違行為防止研修を実施してきました。

質問 1 において、生徒より「あった」との回答があったため、聞き取りを行いました。安全面への配慮に欠けた教科指導が問題であったため、関係職員には生徒の安全を第一に考えるよう指導し、再発防止策を一緒に考えました。その後、生徒に説明、謝罪し、現在は解決済みであります。

2 ページに掲載した、「安心・安全」に関わる内容であり、学校においてはもっとも大切にしなければならないことだと思っています。今後も、生徒や保護者から訴えがあれば即対応するとともに、引き続き研修を積み重ねていきたいと思っています。

互いの人権を尊重し合う風土は、私たち教師のふるまいからつくられることを肝に銘じながら、今後も生徒の指導・支援に当たって参りたいと思います。

もし、お子様のように心配な点や、中学校職員の対応で気になる点などございましたら、お気軽にご相談ください。今後ともよろしく願いいたします。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

青木中学校49-2028  
相談窓口 大久保礼子（教頭）